

## 第98回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成21年12月14日(月)
- |       |           |          |
|-------|-----------|----------|
| 12:00 | 第98回総務委員会 | 鉄鋼会館 806 |
| 15:00 | 経産省ヒアリング  | 経産省会議室   |
| 16:30 | 業界紙記者と懇談  | 鉄鋼会館 806 |

### 2. 第98回総務委員会

#### 出席者

吉里 勉 (総務委員長)  
高木 建 (理事長)  
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)  
林 光雄 (副理事長・東海支部長)  
永吉明彦 (副理事長・大阪支部長)  
木村昭夫 (副理事長・九州支部長)  
柘野 (事務局)

#### 議 題

- (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について
- (2) 月次統計調査の精度向上策について
- (3) 「品質証明分科会」の活動報告について
- (4) 次期(35期)通常総会について
- (5) 第19次実態調査「厚板シェアリング業界の現状」について
- (6) 今後の会合予定
- (7) その他

#### 経 過

吉里委員長の司会により議事が進められた。

#### (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、一部内容修正の上了承された。

(資料は別項参照)

#### (2) 月次統計調査の精度向上策について

事務局より、標記向上策に関し、以下の中間報告が行われた。

当組合の「鋼板流通踏査」は、毎月集計し公表しているが、この10年間は、統計の継続性等を勘案して見直しを実施していない。

こうした中で、本統計は厚中板の需給動向を見る上での指針として、行政官庁やメーカー・商社サイドからも注目されており、できるだけ組合統計の精度(カ

バー率)を向上させる必要性が生じてきている。

このため、第97回総務委員会および第86回理事会の了承を得て、統計協力会社を増やすために、9月調査分から全組合員に対し、毎月調査協力を依頼している。

この結果、現時点の協力会社は、既に協力いただいている61社に、新規11社が加わり、合計72社となった。

この点に関し、「統計精度アップのためには、まだ統計の報告をいただいていない、大手組合員を中心にもっと理解活動を行い、報告会社の拡大を図る必要がある」との意見があった。

今後、この方針に基づき、各支部の協力を頂きながら、さらにきめ細かく理解活動を進めてゆくこととなった。

### (3) 「品質証明分科会」の活動報告について

高木理事長より、標記活動経緯に関し、「昨年4月以降、当組合内にTF『品質証明分科会』(主査:白井美文(株)富士鉄鋼センター取締役)を設置、白井主査と酒匂委員が日本鋼構造協会『品質証明検討委員会』に参画し、1年間にわたり活動してきた。その後も同WGの場で詳細検討を加え、本年11月、「品質証明ガイドライン」の最終稿がまとまり、本年中に発刊の予定である。

今後は、次のステップとして、①ガイドラインの製本が完成次第、全組合員に送付、周知するとともに、②ファブ業界(鉄建協等)に対しても実務的なアプローチを行うこととしており、TFを中心にその対応を進めているところである。これからも関係各位の一層のご支援・ご協力をお願いしたい。」との報告が行われ、了承された。

### (4) 次期(35期)通常総会について

事務局より、来年開催の第35期通常総会の開催日時・場所については、10月20日開催の第86回理事会に諮り、下記要領で実施することが了承された。

#### 記

- ・平成22年5月21日(金)
 

通常総会	15時	鉄鋼会館801
講演会	16時	鉄鋼会館801
懇親会	17時	鉄鋼会館9F
- ・平成22年5月22日(土)
 

懇親ゴルフ会	若洲リンクス
--------	--------

また、講演会の講師については、東京支部「労務部会」(部会長:伊藤良介JFE鋼材(株)常務取締役)から推薦のあった、疋田文明氏(元気塾主宰、経営ジャーナ

リスト、村山鋼材(株)顧問) にお問い合わせする方向で準備することが了承された。

**(5) 第19次実態調査報告「厚板シェアリング業界の現状」について**

事務局より、このほど纏まった、2年に1回実施している標記実態調査の概要について報告を行い、了承された。なお、本報告書は後日組合員あて送付する予定である。

### 3. 4Q経済産業省ヒアリング

#### 出席者

経済産業省

小糸鉄鋼課長、葛岡課長補佐、鈴木係長、他

厚板シャワー工組

高木理事長、酒匂東京支部長、林東海支部長、永吉大阪支部長、  
木村九州支部長、吉里理事・総務委員長、柘野（事務局）

#### 経過

最初に高木理事長より、「足元の厚板の状況は根雪のように全く動いていない。在庫調整も限界に近づいており、需要を増やすしか手立てがない状況にある。需要が自律回復するまで、政府に補正措置（カンフル剤）を講じていただき、時間を稼ぐしかない。早急に、需要創出のための対策をお願いしたい。」との要望が行われた。引き続き、各支部長よりそれぞれ支部の需要動向に関し報告が行われた。

鉄鋼課より、①操業50%の状況で生き残るのは相当厳しいと思うが、リストラに向かうのか、②超高層建築案件は今どんな計画があり、動いているのか、等の質問が出され、種々意見交換が行われた。

以上